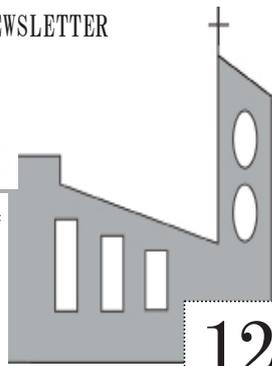


# カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOUMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER



12

〔ミサ時間〕 主日：7時・9時30分/ベトナム語（第2・第4日曜日）：13時半/英語：16時

〔ホームページ〕 <http://www.daimyomachi-c.or.jp/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ（土）18時

TEL: 092-741-3687 Fax: 741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者：中村 彰 神父

## 12月 待降節 ADVENT

12月1日：宣教地召命促進の日

福岡教区年間目標：互いに支え合う「交わりの教会」となる

大名町教会年間テーマ：互いに支え合う「交わりの教会」となる

Becoming a "Church of communion" and mutual support

### 12月のおしらせ

◆1日（日）待降節第1主日  
・街頭募金  
（9時30分ミサ後）

◆4日（水）  
・花植え 13時

◆6日（金）  
・炊き出し 21時

◆8日（日）待降節第2主日  
・避難訓練  
（9時30分ミサ後）

◆9日（月）  
・第75回福岡市民クリスマス 18時開場

福岡市民会館大ホール

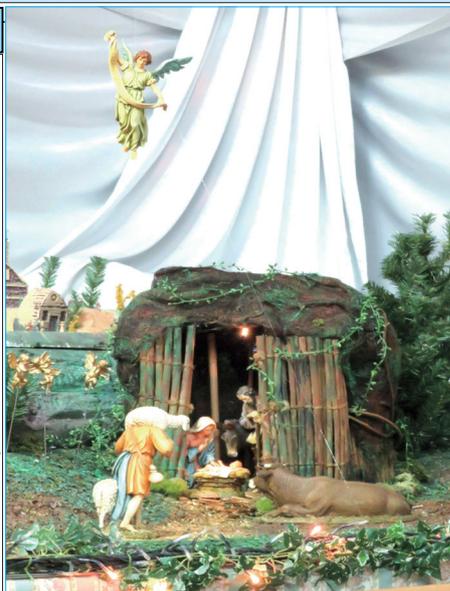
◆15日（日）待降節第3主日  
・教会学校終業式

・クリスマス横断幕  
・飾り付け

◆22日（日）待降節第4主日  
・大掃除

・教会学校クリスマス会

\*〈降誕祭～元旦「神の母  
聖マリア」のミサ時間は  
2ページ〉を参照してく  
ださい。



福岡教区創立  
100周年開幕  
2024 2027



祝 聖年 2025



★中村彰神父：\*キリスト教入門講座  
木曜日：10時 19時

### 聖書学習会

★チュエン神父：聖書のわかちあい  
木曜日：14時

ゆるしの秘跡：希望される方は、司祭に直接ご相談ください。（定期：毎週土曜日10時～11時半）

## 聖年開幕

教皇フランシスコは、「主の昇天の祝日」に  
当たる2024年5月9日、2025年を通常  
聖年と公布する大勅書『希望は欺くことはない』  
を公表されました。聖年は2024年12月24日  
にバチカンの聖ペトロ大聖堂の「聖なる扉」が  
開かれて開幕し、順次聖ヨハネ大聖堂、聖マリ  
ア大聖堂、聖パウロ大聖堂にある「聖なる扉」  
が開かれます。

ローマの4大聖堂の「聖なる扉」は聖年の間  
だけ開かれ、聖年の巡礼者は開かれた扉を通る  
ことができます。聖年は2026年1月6日の  
主の公現の祭日に聖ペトロ大聖堂の「聖なる扉」  
が閉じられることによって閉幕します。他の3  
大聖堂の「聖なる扉」は、2025年12月28  
日まで閉じられます。通常聖年は25年ごと  
に開かれることになっていますが、教皇の指示に  
よって特別聖年が制定されることもあります。  
2015年は「いつくしみの特別聖年」でした。  
聖年において4大聖堂への巡礼や各教区指定  
の教会への巡礼が勧められます。直近にゆるし  
の秘跡を受けて指定された祈りを唱えることに  
よって免償を受けることができます。免償は生  
者だけでなく、死者のためにも受けることがで  
きます。

通常聖年公布の大勅書「希望は欺かない」を  
読んで聖年を有意義に過ごしてください。聖年  
の主題は「希望の巡礼者」です。カトリック中  
央協議会のホームページにも全文が掲載されて  
います。大名町教会でも12月29日の14時から司  
教司式の聖年開幕ミサが捧げられます。

主任司祭 ヨセフ 中村 彰

### シノドスの実践Ⅱ 「共に歩む教会」の集い⑥

「シノドス」とは「共に歩む」という意味。教皇さまがこれまでの世界代表司教の会議だったシノドスを全信徒に開きました。大名町教会も宣教師に開きました。大名町教会も宣教師評議会宣教師が主催し、教区信徒養成部門のレナト神父と委員の安藤智子さん（西新教会信徒）の同伴で、シノドスの実践Ⅰとして、1月から「交わり」、「参加」、「宣教」のテーマで3回の学習会を実施しました。



シノドスの実践Ⅱは9月からルカによる福音書24章17から25章31章までを「暗い顔」、「ともに歩む」、「踏み出す足」の3回のテーマで始めました。イエスが亡くなった後、2人の弟子はエルサレムからエマオへ向かっている途中、イエスが出現された場面です。「踏み出す足」は11月10日に実施し。出席者43人のうち、4人は他教会の信徒でした。祈り、聖歌を歌い、みことば「ルカ24・13〜24」を聴き、レナト神父の講話の後、5〜6人の

グループに分かれて分かち合いをしました。聖霊の働きを信じ、人の話を聞くことに専念し、意見を言ったり、助言したりしない分かち合いは、自分の感じたことを安心して話すことができ、聴く人も自分を振り返り学ぶことができました。

フアシリテーターからも、テーマを決めての分かち合いや福音の分かち合いを続けたいとの意見が出て、今後の在り方を検討していくことになりました。

また、他教会の信徒も、在籍の教会でも実施したいと語り、拡がっていくことが期待されます。

### 英語ミサ うれしい初聖体

11月24日（日）、箱崎教会のマリアノ神父司式の英語ミサの中で、5人の子どもたちの初聖体式が行われました。男の子はネクタイ姿、女の子は白い服に頭には花輪をつけて嬉しそうでした。英語グループのスタッフが初聖体に向けて、子どもたちの勉強に携わっていました。これから毎日曜日にご聖体であるイエス様をいただいで、ますます神さまを愛する子どもに成長するように祈ります。



### 七五三の祝福式



11月17日（日）のミサの中で、9人の子どもの七五三の祝福式が行われました。中村神父は「神さまの祝福があるように。教会のみなさんに喜ばれるように」と

子どもたちに語りかけ、「あなたの愛から離れることなく、両親の愛に育まれて成長するように」と祈りました。祝福されたメダイと千歳飴をいただいた子どもたち。神さまの愛と家庭・教会共同体の愛の中で、健やかに成長していきますようにと、祈りました。

### アイビーを植えました

今年は猛暑が長く続き、福岡市の「花いっぱい運動」で植えた歩道のプランターの花は、焼き枯れてしまいました。フェンス前の石垣の上に何を植えたらいいか、植物を育てている信徒の方や園芸店に相談しました。その答えは、アイビーの類。強い植物で、冬場はほとんど水やりの必要はなく、人手があまりかからないのも選んだ理由です。ツルが伸びすぎたら切れば済みます。看板・掲示版検討委員会、宣教師評議会でも承認してもらい植えました。土を覆うほど茂るまで時間がかかりますが、楽しみに待っていてください。



### 降誕祭～元旦「神の母聖マリア」ミサの時間

- ◆ 12月24日（火）
  - ・クリスマスキャロル 18時30分<外階段>
  - ・主の降誕 夜半ミサ① 19時（アベイヤ司教司式）
  - （\*動画配信。聖堂座席数のみ着席。満席になり次第1階講堂で配信により参加。）
  - 夜半ミサ② 21時30分
- ◆ 12月25日（水）
  - ・主の降誕 日中のミサ
  - 日本語 10時（アベイヤ司教司式）
  - 能古島 15時
  - 英語 16時
  - ベトナム語 19時
- ◆ 12月29日（日）
  - ・聖家族の祝日ミサ 9時30分
  - ・聖年開幕ミサ 14時
  - （アベイヤ司教司式）
- ◆ 1月1日（水・元旦）
  - ・神の母聖マリアの祭日ミサ 10時
  - 日本語 10時（アベイヤ司教司式）
  - 能古島 15時
  - ベトナム語 13時30分
  - 英語 16時



# 宣教司牧評議会

(11月17日)

## ◆議題

- 1 ホークスパレード時の対応  
・駐車場の整理、明治通り側門扉の閉門、中・小の鐘の使用、フェンス前の花壇へのネットかけ
  - 2 年末街頭募金  
・12月1日(日) 9時30分ミサ後から5ヶ所で実施  
・大人・子どもが一緒に活動  
・送金先はカリタスジャパン。能登災害支援のため
  - 3 クリスマス飾り付け  
・12月15日(日) 8時30分から。協力者の呼び掛け報告事項
- ◆ 報告事項
- 1 駐車場利用説明会を受けて  
・(1) 12月1日より出入口は一方通行
  - ・(2) 北側出口に警報機設置
  - ・(3) 利用は登録制。外国語ミサとの統一
- 2 看板・掲示板検討委員会  
・石垣にある配線部分の損傷を防ぐ処理後、土を入れアイビーの植栽
  - 3 通夜検討委員会  
・現状の考え方の確認と共有、今後の在り方と課題を整理するため一回目の委員会を開催済み
  - 4 各部活動報告  
・(1) 秋のランチ会開催。土曜日開催で参加者が少なかったが、見直しに活かす  
・(2) 宣教部  
・シノドスの学習会修了。参加者が増

加。信仰養成の観点からも今後の進め方を検討

- (3) 営繕部・施設管理部  
・大聖堂のLED化について検討を開始

- ・高圧ケーブル更新・高圧交流気中開閉器移設」工事、「門表移設仕上げ工事」完了
- ・高圧水槽ポンプ修理工事の追加工事費2500円承認
- ・11月18日、消防点検、消防設備点検、建設設備点検を実施

- (4) 典礼部  
・待降節ミサ時間等の詳細は2ページ
- (5) 美化部  
・毎日曜日の掃除参加者数確認中。今後の在り方に役立てるため。
- (6) その他

- ①世界宣教の日献金¥37800
- ②福岡地区信徒使徒職協議会は、発展的解散、「福岡地区宣教司牧評議会」へ移行
- ③教会学校スタッフ会議の主な内容お知らせ

- ・クリスマス計画
- ・街頭募金の協力

## ADVENT 待降節

「神がお生まれになるところには、希望が生まれます。そして希望が生まれるところでは、人々が自らの尊厳を取り戻します。」

教皇フランシスコの言葉



## 教区和田墓地ミサ

11月10日(日) 14時から教区和田墓地でミサと納骨式が行われました。



小雨の中、スペインマドリッド教区派遣司祭ヘスス神父、中村彰神父、十時伸治神父の共同司式に、100人を超える信徒が参列しました。8人の方の納骨があり、大名町教会からはお一人の方の納骨がありました。この日には、200人を超える人が、納骨堂を訪問し故人を偲び、永遠の安息を祈りました。

福岡地区納骨堂管理委員会  
委員長 パウロ 豊嶋 司

## 駐車場の利用について

大名町教会駐車場に停めるときは、お互い譲りあって気持ちよく使用したいものです。ミサの後、枠外に停めている方は、速やかに車の移動をお願いします。特に日曜日は、日本語ミサの後、外国語ミサがあり、そのミサに多くの方が車でみえます。日本語ミサに与った方は、車の移動のご協力をお願いします。

## 待降節・主の到来を準備して待つ

今日から教会の典礼季節は「待降節」です。待降節は「アドベント」と言われます。アドベントは「到来」という意味のラテン語アドベントゥスからきた言葉で、待降節は主の「到来」を準備して「待つ」季節ということになります。待降節に思い起こす主の到来は二つあります。一つは、主が人の子としてお生まれになりこの世にいられたこと、すなわち主の降誕。もう一つは、終末のときの主の再臨です。二千年前、神の子が人となってわたしたちのうちに住みになったことを祝うために心を整えると同時に、世の終わりにその方が再び来られて、すべての人を神の救いにあずからせてくださることを信じて待ち望みます。待降節は大きな喜びと希望の季節です。

待降節中の福音朗読がそのことをよく伝えていきます。第1主日に終末における主の到来が語られ、第2、第3主日に洗礼者ヨハネが現れ主を迎える回心を呼びかけ、第4主日にマリアやヨセフ(今年はマリアとエリザベト)が登場し、共に降誕を準備します。旧約の預言者たちは人々に、日々直面する困難の中で、救い主の到来に希望をおくよう語りかけ、洗礼者ヨハネは差し迫った主の到来へ向けて回心を呼びかけます。マリアとヨセフ、エリザベトは不思議な神の呼びかけに戸惑いながらも、すべてを主に委ねて救い主を迎えるのです。

ミカエル 深堀 純